

鹿児島海区漁業調整委員会委員候補者の推薦及び応募状況【最終公表】

漁業者・漁業従事者委員

1 個人推薦

なし

2 団体推薦

以下のとおり

番号	推薦を受けた者（被推薦者）								推薦した者（推薦者）							
	氏名	年齢	性別	職業	経歴	漁業経営状況		漁業法第138条第5項に定める漁業者又は漁業従事者である	団体等名称	代表者職・氏名	団体等の性格		構成員		推薦理由	
						従事年数	主な漁業種類				目的	業務内容	人数	構成員たる資格		
1	のむら けいし 野村 敬司	54	男性	漁業	昭和63年3月 平成2年5月 平成4年3月  平成4年4月 平成25年6月～現在 平成29年6月～現在 平成29年7月～現在 令和3年4月～現在	鹿児島県立出水高等学校卒業 追手門学院大学経済学部入学 追手門学院大学経済学部中途退学 (理由：家業を継ぐため) (有) 海盛水産入社（中型旋網漁業従事） (有) 海盛水産代表取締役 鹿児島県旋網漁業協同組合理事 鹿児島県旋網漁業協同組合副組合長 鹿児島海区漁業調整委員会委員	32	中型まき網漁業	○	鹿児島県旋網漁業協同組合	代表理事組合長 上村 忍	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能力を上げ、もって組合員の経済的地位を高めること	水産資源の管理及び水産動植物の増殖 水産に関する経営及び技術の向上に関する指導 組合員に対する一般的情報の提供など	正組合員22名	【正組合員資格】 組合の地区内に住所を有し、かつ、1年を通じて90日を超えて旋網漁業を営む漁民 ほか	野村敬司氏は、平成4年から家業の中型旋網漁業に従事し、平成25年からはその経営にあたっては、平成25年からはその経営をとっており、豊富な漁業経験とともに漁業の現状をよく理解しています。 鹿児島県旋網漁業協同組合においては、平成29年から理事、副組合長を務めており、組合の組織強化や資源管理の推進などに取り組み中で優れた指導・調整能力を発揮しています。 以上のことから、鹿児島海区漁業調整委員会の委員候補者として推薦する。
2	よこやま こうじ 横山 幸二	64	男性	漁業	昭和53年3月 昭和53年4月～平成2年7月 平成2年8月～現在 平成21年6月～平成27年6月 平成24年8月～平成27年8月 令和3年6月～令和6年5月 平成27年6月～現在	鹿児島県立水産高校卒業 カルビー（株）勤務 延縄漁業等に従事 谷山漁業協同組合理事 鹿児島県漁船保険組合総代 日本漁船保険組合鹿児島支所運営委員 谷山漁業協同組合代表理事組合長	34	延縄漁業 固定式刺し網漁業	○	鹿児島県漁業協同組合	代表理事組合長 榎 健一	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能力を上げ、組合員の経済的地位を高めること	水産資源の管理及び水産動植物の増殖 水産に関する経営及び技術の向上に関する指導 組合員の事業又は生活に必要な物資の供給など	正組合員339名 准組合員465名 計 804名	【正組合員資格】 組合の地区内に住所を有し、かつ1年を通じて90日を超えて漁業を営み又はこれに従事する漁民 ほか	平成2年から延縄漁業他に従事し、平成27年からは谷山漁業協同組合代表理事組合長を務めるなど、地域漁業の中心的な存在として長年活躍されている。 特に、延縄漁業や固定式刺し網漁業等に関し豊富な知識と経験を有され、また、谷山漁協朝どれ会を結成し、直接市民に新鮮な魚を提供する活動を行うなど販路拡大にも取り組んでこられた。 誠実な人柄で地元漁業者からの信頼も厚く、ご本人も海区漁業調整委員会委員の職責を理解され、今後の地域漁業の発展に向けての活動に強い意欲を持っておられることから、鹿児島海区の漁業調整委員会委員として適任であると考えます。
									指宿漁業協同組合	代表理事組合長 坂元 広志	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能力を上げ、組合員の経済的地位を高めること	組合員の生産物、漁獲物の保管及び販売 水産動植物の増殖及び水産資源の管理	正組合員 87名 准組合員 52名 計 139名	【組合員資格】 組合の地区内に住所を有し、1年を通じて90日以上漁業を営み又はこれに従事する漁民は正組合員、地区内に住所を有しているが、90日以下の漁民は准組合員	平成2年から延縄漁業をはじめし他の漁業にも従事し、谷山漁業協同組合代表理事組合長を務めるなど地域漁業の中心的な存在であり、長年にわたって活躍している。 特に、延縄漁業や固定式延縄漁業等に関しては、豊富な知識と経験を有し、谷山漁業協同組合朝どれ会を結成するなど、市民に新鮮な魚を直接提供する活動を行うなど販路拡大や販路開拓に取り組み地元漁業者をはじめ、誠実な人柄で信頼も厚くなくてはならない存在である。 また、本人も海区漁業調整委員会委員の職責を十分に理解し、今後の漁業の発展に向けて高い活動意欲を持っていらっしゃるため、適任と認め推薦する。	

	推薦を受けた者（被推薦者）							推薦した者（推薦者）							
	氏名	年齢	性別	職業	経歴	漁業経営状況		漁業法第138条第5項に定める漁業者又は漁業従事者である	団体等名称	代表者職・氏名	団体等の性格		構成員		推薦理由
						従事年数	主な漁業種類				目的	業務内容	人数	構成員たる資格	
2	よこやまこうじ 横山 幸二	64	男性	漁業	昭和53年3月 昭和53年4月～平成2年7月 平成2年8月～現在 平成21年6月～平成27年6月 平成24年8月～平成27年8月 令和3年6月～令和6年5月 平成27年6月～現在  鹿児島県立水産高校卒業 カルビー（株）勤務 延縄漁業等に従事 谷山漁業協同組合理事 鹿児島県漁船保険組合総代 日本漁船保険組合鹿児島支所運営委員 谷山漁業協同組合代表理事組合長	34	延縄漁業 固定式刺し 網漁業	○	山川町漁業協同組合	代表理事組合長 殿島 祐哉	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能力を上げ、組合員の経済及び社会的地位を高めること	組合員の生産物、漁獲物の保管及び販売 水産動植物の増殖及び水産資源の管理	正組員 48名 准組員 35名 計 83名	【正組員資格】 この組合の地区内に住所を有し、かつ、1年を通じて90日を超えて漁業を営み又はこれに従事する漁民 ほか	平成2年から延縄漁業他に従事し、谷山漁業協同組合代表理事組合長を務めるなど、地域漁業の中心的な存在として長年活躍している。 特に、延縄漁業や固定式刺し網漁業等に関し豊富な知識と経験を有し、また、谷山漁協朝どれ会を結成し、直接市民に新鮮な魚を提供する活動を行うなど販路拡大にも取り組んできた。 誠実な人柄を含め、地元漁業者からの信頼も厚く、本人も海区漁業調整委員会委員の職責を理解し、今後の地域漁業の発展に向けての活動に強い意欲を持っていることから、適任である。
3	おおおくほ みつろう 大久保 光朗	66	男性	漁業	昭和59年3月 昭和59年4月～平成2年6月 平成2年7月～現在 平成9年4月～平成24年5月 平成24年5月～平成25年5月 平成25年5月～現在 平成25年6月～現在 平成26年4月～現在 平成26年4月～現在 平成28年8月～令和元年6月 令和3年6月～現在 令和4年8月～現在 令和6年6月～現在  九州産業大学産業経営学科卒業 （株）わらびの里 （有）大久保水産 市来町漁業協同組合監事 市来町漁業協同組合理事 市来町漁業協同組合代表理事組合長 海上保安協会串木野支部会計監事 全国共水産鹿児島県事務所運営委員 西薩地区水産改良普及事業推進協議会監事 鹿児島県漁業協同組合連合会監事 鹿児島県漁業協同組合連合会監事 鹿児島県漁業共済組合代表監事 九州信用漁業協同組合連合会非常勤監事	34	機船船びき 網漁業 小型底びき 網漁業 固定式刺し 網漁業 一本釣り漁業	○	西薩地区漁協長等連絡協議会	代表 早崎 達哉	沿岸漁業の振興、漁協運営で抱える諸問題の解決及び会員相互の親睦	目的達成のために会議を行い、問題を解決する。	代表理事組合長 5名 支所運営委員長 1名 計 6名	いちき串木野市羽島地区から日置市吹上町地区までの漁協代表者及び合併漁協支所の代表者	大久保光朗氏は、大学卒業後、ちりめん山椒を主として製造、販売を手掛ける京都の会社で修行した後、家業である有限会社大久保水産に入社し、現在、専務取締役役に就任し会社経営に携わりながら、興では漁労長として船員の先導に立ち機船船びき網漁業の指揮を行っている。 また、平成25年5月、市来町漁業協同組合代表理事組合長に就任して、当初より役員一丸となり存在感のある漁協の事業運営に努めながら、組合員の負担に応えるため積極的に沿岸漁業の振興に尽力されている。 現在、鹿児島県水産団体の幹事をはじめ、各種関連団体の役職に就任し、重責を担いながらも、西薩海域を生活の糧としている漁業者の稼ぐ力の発揮及び持続可能な漁業の実現のため、同海域における多くの課題に積極的に取り組んでいる。 以上のようなことから、沿岸漁業に精通しており知識が豊富で見識が高い、大久保光朗氏を西薩地区漁協長等連絡協議会において、全会一致で海区漁業調整委員会委員として最も相応しいと認め推薦する。
4	こさき はるうみ 小崎 春海	54	男性	漁業	平成元年3月 平成元年4月～現在 平成11年6月～平成15年3月 平成15年4月～平成28年6月 平成19年4月～平成28年7月 平成21年4月～平成24年3月 平成25年6月～平成28年6月 平成25年6月～平成28年6月 平成31年6月～現在 令和3年～現在  鹿児島県立長島高等学校卒業 棒受網漁業従事 長島町漁協理事 北さつま漁業協同組合理事 鹿児島県数網漁業漁協協議会会長 長島町産業振興委員 鹿児島県漁業協同組合連合会監事 鹿児島県漁船保険組合代表監事 北さつま漁業協同組合理事 鹿児島県海区漁業調整委員会委員	35	棒受網漁業	○	北さつま漁業協同組合	代表理事組合長 佐浮 芳蔵	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能力を上げ、もって組合員の経済的社会的地位を高めること	水産資源の管理及び水産動植物の増殖 水産に関する経営及び技術の向上に関する指導 組合員の漁獲物その他の生産物の運搬、加工、保管 又は販売 など	正組員 358名 准組員 417名 計 775名	【正組員資格】 組合の地区内に住所を有し、かつ、1年を通じて90日を超えて漁業を営み又はこれに従事する漁民 ほか	小崎春海氏は、豊富な漁業経験と知識を有し、地域の漁業者からの信頼が厚く、併せて指導力に優れることから、当組合の理事として地域漁業の発展に寄与している。 また過去には、鹿児島県数網漁業協会会長、現在は鹿児島県海区漁業調整委員会委員と担い、鹿児島県の漁業についても問題意識を持ち、様々な課題を解決するために尽力している。 以上のことから、小崎春海氏を鹿児島県海区漁業調整委員会の候補者として推薦する。

	推薦を受けた者（被推薦者）								推薦した者（推薦者）							
	氏名	年齢	性別	職業	経歴	漁業経営状況		漁業法第138条第5項に定める漁業者又は漁業従事者である	団体等名称	代表者職・氏名	団体等の性格		構成員		推薦理由	
						従事年数	主な漁業種類				目的	業務内容	人数	構成員たる資格		
5	ますもとゆうじ 増本 雄二	70	男性	漁業	昭和44年3月 昭和45年1月 昭和47年1月 昭和48年1月 昭和50年4月 平成3年4月 平成11年4月 平成21年2月 平成30年2月	枕崎市立枕崎中学校卒業 勝倉水産株式会社入社 海外漁業株式会社入社 勝倉水産株式会社入社 自営業（漁船漁業） 鹿児島県漁業士会青年漁業士就任 鹿児島県漁業士会指導漁業士就任 枕崎市漁業協同組合理事就任 枕崎市漁業協同組合副会長理事就任	54	きびなご底刺し網漁業 小型機船底びき網漁業	○	枕崎市漁業協同組合	代表理事組合長 市田 恵八朗	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能力を上げ、もって組合員の経済的社会的地位を高めること	水産資源の管理及び水産動植物の増殖 水産に関する経営及び技術の向上に関する指導 組合員の漁獲物その他の生産物の運搬、加工、保管又は販売 など	正組合員 61名 準組合員 529名 計 590名	【正組合員資格】 組合の地区内に住所を有し、かつ、1年を通じて120日を超えて漁業を営み又はこれに従事する漁民 ほか	昭和44年に遠洋艦一本釣り漁業に就労、以降6年間従事し、昭和50年に下船後は、組合一本釣り、きびなご底刺し網漁業者として独立、積極的に地域の活動に参加し、今日まで漁業振興に努めている。 また、底びき網漁業などの新たな漁具、漁法の導入や技術向上に取り組み、平成3年に青年漁業士の認定を受けてからは、地域における中核的な漁業者として漁業の担い手の育成・指導に取り組んでいる。 また、当組合の理事を10年以上務め、組合の運営・発展にも貢献するなど、長期にわたり地域産業の牽引役を務めてきた実績は顕著で優秀と認められる。 本人についても海区漁業調整委員会委員の職責を理解し、今後の地域漁業の発展に向けた活動に意欲と興味を持っていることから適任である。
6	やながわよしゆり 柳川 良則	73	男性	漁業	昭和41年4月 昭和41年5月～昭和47年4月 昭和47年5月～平成8年8月 平成8年9月～現在 昭和62年7月～平成4年6月 平成4年7月～平成6年6月 平成27年7月～現在 平成15年5月～平成17年4月 平成17年5月～平成29年4月 令和4年6月～現在	内之浦町立内之浦中学校卒業 中型旋網漁業 鮪延縄、刺し網、一本釣り、底びき網漁業 小型定置網漁業を経営 内之浦町漁業協同組合理事 内之浦町漁業協同組合代表理事 内之浦町漁業協同組合代表理事 内之浦町議員 肝付町議会議員 水産二団体理事	58	定置網漁業	○	内之浦漁業協同組合	代表理事組合長 柳川 良則	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能力を上げ、もって組合員の経済的社会的地位を高めること	水産資源の管理及び水産動植物の増殖 水産に関する経営及び技術の向上に関する指導 組合員の漁獲物その他の生産物の運搬、加工、保管又は販売 など	正組合員 109名 準組合員 33名 計 142名	【正組合員資格】 組合の地区内に住所を有し、かつ、1年を通じて90日を超えて漁業を営み又はこれに従事する漁民 ほか	昭和41年より多種の漁業に従事し、現在は定置網漁業を長期にわたり営んでおり、また、内之浦漁業協同組合の代表理事組合長を務めるなど、地域漁業者の中心的な存在として長年活躍している。 特に漁業経営や漁業法に関する豊富な知識と経験を有し、内之浦漁業協同組合の経営の改善、改革に努め、多大な指導力を発揮し長期にわたる内之浦漁業協同組合の財務改善計画を達成するにあたり大きく貢献した実績もある。 本人も海区漁業調整委員会委員の職責を十分理解し、今後の地域漁業の振興と発展に向けて豊富な知識と経験を活かす高い意欲を持っていることから、適任であることを認め推薦する。
7	やましたしんご 山下 伸吾	64	男性	漁業	昭和54年3月 昭和54年8月～令和3年3月 令和3年6月～ 令和6年6月～	鹿児島県立長島高等学校卒業 東町漁業協同組合 勤務 東町漁業協同組合 理事 東町漁業協同組合 代表理事組合長		養殖漁業	○	東町漁業協同組合	代表理事組合長 山下 伸吾	組合員が協同して経済活動を行い、組合員の生活向上、漁村の発展、また、消費者への安心安全な水産物の供給を行う。	水産物の加工、販売 組合員の経営及び技術の指導 資源保護、資源管理、漁業調整 など	正組合員 344名 準組合員 244名 計 588名	【正組合員資格】 地区内に住所を有し、かつ、1年を通じて90日を超えて漁業を営み又はこれに従事する漁民	山下伸吾氏は昭和54年に東町漁協へ入協後、各事業の経験を重ねながら、平成16年に指導課長、平成19年に総務部長、平成24年には参事を歴任。漁業調整や漁業指導等の実務経験もあり、見識が深い。 また、養殖漁業においては、オリジナル飼料の開発等、飼料ブランドの確立に尽力した。漁協在職時の経験・実績もあり、地元漁業者の信頼も厚い。これからの漁業・水産業の発展に向け高い意欲があり、適任である。

氏名	年齢	性別	職業	推薦を受けた者（被推薦者）			推薦した者（推薦者）								
				経歴	漁業経営状況		漁業法第138条第5項に定める漁業者又は漁業従事者である	団体等名称	代表者職・氏名	団体等の性格		構成員		推薦理由	
					従事年数	主な漁業種類				目的	業務内容	人数	構成員たる資格		
阿久根 金也	61	男	漁業	昭和56年3月 昭和56年4月～現在 平成8年8月～平成20年7月 平成17年2月～平成19年1月 平成19年2月～平成21年1月 平成20年8月～現在 平成7年6月～平成19年5月 平成19年6月～平成24年5月 平成20年6月～平成26年5月 平成20年6月～平成26年5月 平成24年8月～平成28年7月 平成28年8月～現在 令和6年7月～現在※	県立鹿児島水産高等学校漁業科卒業 漁船漁業従事 青年漁業士 県漁業士会副会長 県漁業士会会長 指導漁業士 加世田漁業協同組合理事 加世田漁業協同組合 代表理事組合長 鹿児島県漁業協同組合連合会 理事 鹿児島県漁船保険組合 理事 鹿児島海区漁業調整委員会委員 鹿児島海区漁業調整委員会会長 鹿児島県連合海区漁業調整委員会会長	43	こち網漁業 さし網漁業	○	鹿児島県漁業士会	会長 川畑 興文	鹿児島県漁業者の中核として資質の向上を図る	・漁業後継者の育成指導、研修及び講習会の開催等	青年漁業士19名 指導漁業士54名 合計73名	(構成員資格) 鹿児島県が認定している指導漁業士、青年漁業士	被推薦者は、代々続く漁家に生まれ、鹿児島水産高等学校を卒業後、昭和56年より漁業に従事し、加世田漁協理事、同代表理事組合長、県漁連理事、県漁船保険組合理事等を歴任する。また、県青年漁業士を経て県指導漁業士に任命され、過去に県漁業士会会長に就任し、本県水産振興に積極的に取り組んでいる。国の漁業後継者育成事業において、過去4名を引き受け、漁業担い手育成にも積極的に取り組んでいる。前回、前々回の鹿児島海区漁業調整委員会委員選挙結果をみても分かるように、鹿児島海区全域にわたり広く交流を持ち、熱心な浜回りにより現状と課題を見聞し取り組み、多くの漁業者から支持を受け、漁業種類に偏りなく漁業者に信頼されている。本人も現鹿児島海区漁業調整委員会会長でもあり、委員としての職責を理解し、今後の県内漁業の発展に向けて積極的に高い意欲を持っていることから、鹿児島海区漁業調整委員会委員として最適任者である。
							加世田漁業協同組合	代表理事組合長 山崎 慶幸	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能力を上げ、もって組合員の経済的社会的地位を高めること	・水産資源の管理及び水産動植物の増殖 ・水産に関する経営及び技術の向上に関する指導 ・組合員の漁獲物その他の生産物の運搬、加工、保管又は販売など	正組合員62名 準組合員118名 計180名	(正組合員資格) 組合の地区内に住所を有し、かつ1年を通じて90日を超えて漁業を営み又はこれに従事する漁民 ほか	代々続く漁家に生まれ、鹿児島水産高等学校を卒業後、昭和56年より漁業に従事し、加世田漁協理事、同代表理事組合長、県漁連理事、県漁船保険組合理事等を歴任する。また、県青年漁業士を経て県指導漁業士に任命され、過去に県漁業士会会長に就任し、本県水産振興に積極的に取り組んでいる。国の漁業後継者育成事業において、過去3名、現在1名を引き受け、漁業担い手育成にも積極的に取り組んでいる。前回、前々回の鹿児島海区漁業調整委員会委員選挙結果をみても分かるように、鹿児島海区全域にわたり広くコミュニティーを持ち、熱心な浜回りもして現状と課題を見聞し取り組み、多くの漁業者から支持を受け、漁業種類に偏りなく漁業者に信頼されている。本人も現鹿児島海区漁業調整委員会会長でもあり、委員としての職責を理解し、今後の県内漁業の発展に向けて積極的に高い意欲を持っていることから、鹿児島海区漁業調整委員会委員として最適任者である。		
							笠沙町漁業協同組合	代表理事組合長 上村 一郎	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能力を上げ、もって組合員の経済的、社会的地位を高めること	・水産資源の管理及び水産動植物の増殖 ・水産に関する経営及び技術の向上に関する指導 ・組合員の漁獲物その他の生産物の運搬、加工、保管又は販売など	正組合員41名 準組合員110名 計151名	(正組合員資格) 組合の地区内に住所を有し、かつ1年を通じて90日を超えて漁業を営み又はこれに従事する漁民 ほか	代々続く漁家に生まれ、鹿児島水産高等学校を卒業後、昭和56年より漁業に従事し、加世田漁協理事、同代表理事組合長、県漁連理事、県漁船保険組合理事等を歴任する。また、県青年漁業士を経て県指導漁業士に任命され、過去に県漁業士会会長に就任し、本県水産振興に積極的に取り組んでいる。国の漁業後継者育成事業において、過去3名、現在1名を引き受け、漁業担い手育成にも積極的に取り組んでいる。前回、前々回の鹿児島海区漁業調整委員会委員選挙結果をみても分かるように、鹿児島海区全域にわたり広くコミュニティーを持ち、熱心な浜回りもして現状と課題を見聞し取り組み、多くの漁業者から支持を受け、漁業種類に偏りなく漁業者に信頼されている。本人も現鹿児島海区漁業調整委員会会長でもあり、委員としての職責を理解し、今後の県内漁業の発展に向けて積極的に高い意欲を持っていることから、鹿児島海区漁業調整委員会委員として最適任者である。		



氏名	年齢	性別	職業	推薦を受けた者（被推薦者）			推薦した者（推薦者）												
				経歴	漁業経営状況		漁業法第138条第5項に定める漁業者又は漁業従事者である	団体等名称	代表者職・氏名	団体等の性格		構成員		推薦理由					
					従事年数	主な漁業種類				目的	業務内容	人数	構成員たる資格						
8 あぐね 阿久根 金也	61	男	漁業	昭和56年3月 昭和三十六年4月～現在 平成8年8月～平成20年7月 平成17年2月～平成19年1月 平成19年2月～平成21年1月 平成20年8月～現在 平成7年6月～平成19年5月 平成19年6月～平成24年5月 平成20年6月～平成26年5月 平成20年6月～平成26年5月 平成24年8月～平成28年7月 平成28年8月～現在 令和6年7月～現在※	県立鹿児島水産高等学校漁業科卒業 漁船漁業従事 青年漁業士 県漁業士会副会長 県漁業士会会長 指導漁業士 加世田漁業協同組合理事 加世田漁業協同組合 代表理事組合長 鹿児島県漁業協同組合連合会 理事 鹿児島県漁船保険組合 理事 鹿児島県漁業調整委員会委員 鹿児島県漁業調整委員会会長 鹿児島県連合海区漁業調整委員会会長	43	ごち網漁業 さし網漁業	○	川内市漁業協同組合	代表理事組合長 下園 利雄	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能力を上げ、もって組合員の経済的、社会地位を高めること	・水産資源の管理及び水産動植物の増殖 ・水産に関する経営及び技術の向上に関する指導 ・組合員の漁獲物その他の生産物の運搬、加工、保管又は販売など	正組合員104名 準組合員162名 計266名	(正組合員資格) 組合の地区内に住所を有し、かつ1年を満して90日を超えて漁業を営み又はこれに従事する漁民 ほか	代々続く漁家に生まれ、鹿児島水産高等学校を卒業後、昭和56年より漁業に従事し、加世田漁協理事、同代表理事組合長、県漁連理事、県漁船保険組合理事等を歴任する。 また、県青年漁業士を経て県指導漁業士に任命され、過去に県漁業士会会長に就任し、本県水産振興に積極的に取り組んでいる。 国の漁業後継者育成事業において、過去3名、現在1名を引き受け、漁業担い手育成にも積極的に取り組んでいる。前回、前々回の鹿児島県漁業調整委員会委員選挙結果をみても分かるように、鹿児島県全域にわたり広くコミュニティーを持ち、熱心に浜回りもして現状と課題を見聞し取り組み、多くの漁業者から支持を受け、漁業種類に偏りなく漁業者に信頼されている。 本人も現鹿児島県漁業調整委員会会長でもあり、委員としての職責を理解し、今後の県内漁業の発展に向けて積極的に高い意欲を持っていることから、鹿児島県漁業調整委員会委員として最適任者である。				
				あぐね 阿久根 金也	61	男	漁業	昭和56年3月 昭和三十六年4月～現在 平成8年8月～平成20年7月 平成17年2月～平成19年1月 平成19年2月～平成21年1月 平成20年8月～現在 平成7年6月～平成19年5月 平成19年6月～平成24年5月 平成20年6月～平成26年5月 平成20年6月～平成26年5月 平成24年8月～平成28年7月 平成28年8月～現在 令和6年7月～現在※	県立鹿児島水産高等学校漁業科卒業 漁船漁業従事 青年漁業士 県漁業士会副会長 県漁業士会会長 指導漁業士 加世田漁業協同組合理事 加世田漁業協同組合 代表理事組合長 鹿児島県漁業協同組合連合会 理事 鹿児島県漁船保険組合 理事 鹿児島県漁業調整委員会委員 鹿児島県漁業調整委員会会長 鹿児島県連合海区漁業調整委員会会長	43	ごち網漁業 さし網漁業	○	川内市漁協 青壮年部	部長 青崎 宏文	薩摩川内市及び川内市漁協と協力して水産及び地域の活性化に関する知識と技術の習得に励み、若手としての資質向上を目的とする	・漁業経営及び技術の改良に関する事業 ・地域及び水産業の振興に関する事業 ・会員の相互睦と組織の強化に関する事業 ・漁業協同組合の事業推進に関する事業	13人	川内市漁業協同組合正組合員であって加入時に年齢18歳以上50歳未満の者	代々続く漁家に生まれ、鹿児島水産高等学校を卒業後、昭和56年より漁業に従事し、加世田漁協理事、同代表理事組合長、県漁連理事、県漁船保険組合理事等を歴任する。 また、県青年漁業士を経て県指導漁業士に任命され、過去に県漁業士会会長に就任し、本県水産振興に積極的に取り組んでいる。 国の漁業後継者育成事業において、過去3名、現在1名を引き受け、漁業担い手育成にも積極的に取り組んでいる。前回、前々回の鹿児島県漁業調整委員会委員選挙結果をみても分かるように、鹿児島県全域にわたり広くコミュニティーを持ち、熱心に浜回りもして現状と課題を見聞し取り組み、多くの漁業者から支持を受け、漁業種類に偏りなく漁業者に信頼されている。 本人も現鹿児島県漁業調整委員会会長でもあり、委員としての職責を理解し、今後の県内漁業の発展に向けて積極的に高い意欲を持っていることから、鹿児島県漁業調整委員会委員として最適任者である。
				あぐね 阿久根 金也	61	男	漁業	昭和56年3月 昭和三十六年4月～現在 平成8年8月～平成20年7月 平成17年2月～平成19年1月 平成19年2月～平成21年1月 平成20年8月～現在 平成7年6月～平成19年5月 平成19年6月～平成24年5月 平成20年6月～平成26年5月 平成20年6月～平成26年5月 平成24年8月～平成28年7月 平成28年8月～現在 令和6年7月～現在※	県立鹿児島水産高等学校漁業科卒業 漁船漁業従事 青年漁業士 県漁業士会副会長 県漁業士会会長 指導漁業士 加世田漁業協同組合理事 加世田漁業協同組合 代表理事組合長 鹿児島県漁業協同組合連合会 理事 鹿児島県漁船保険組合 理事 鹿児島県漁業調整委員会委員 鹿児島県漁業調整委員会会長 鹿児島県連合海区漁業調整委員会会長	43	ごち網漁業 さし網漁業	○	吹上浜吾智 網漁業者協議会	会長 久木留 秀行	資源管理	ごち網漁業	5漁協 23業者	吹上浜においてのごち網漁業の許可を有する者	代々続く漁家に生まれ、鹿児島水産高等学校を卒業後、昭和56年より漁業に従事し、加世田漁協理事、同代表理事組合長、県漁連理事、県漁船保険組合理事等を歴任する。 また、県青年漁業士を経て県指導漁業士に任命され、過去に県漁業士会会長に就任し、本県水産振興に積極的に取り組んでいる。 国の漁業後継者育成事業において、過去3名、現在1名を引き受け、漁業担い手育成にも積極的に取り組んでいる。前回、前々回の鹿児島県漁業調整委員会委員選挙結果をみても分かるように、鹿児島県全域にわたり広くコミュニティーを持ち、熱心に浜回りもして現状と課題を見聞し取り組み、多くの漁業者から支持を受け、漁業種類に偏りなく漁業者に信頼されている。 本人も現鹿児島県漁業調整委員会会長でもあり、委員としての職責を理解し、今後の県内漁業の発展に向けて積極的に高い意欲を持っていることから、鹿児島県漁業調整委員会委員として最適任者である。

	推薦を受けた者（被推薦者）							推薦した者（推薦者）								
	氏名	年齢	性別	職業	経歴	漁業経営状況		漁業法第138条第5項に定める漁業者又は漁業従事者である	団体等名称	代表者職・氏名	団体等の性格		構成員		推薦理由	
						従事年数	主な漁業種類				目的	業務内容	人数	構成員たる資格		
9	しげのぶ 重信 雅彦	64	男	漁業	昭和54年3月 昭和54年4月～現在 平成17年6月～平成23年5月 平成23年6月～平成26年5月 平成26年6月～現在 平成26年12月～現在 平成27年6月～現在 平成28年8月～現在 令和元年7月～現在 令和元年7月～現在 令和6年7月～現在	鹿児島市立商業高等学校卒業 一本釣り漁業へ従事 鹿児島市漁業協同組合理事 鹿児島市漁業協同組合筆頭理事 鹿児島市漁業協同組合代表理事組合長 鹿児島市中央卸売運営協議会委員 公益財団法人かこしま豊かな海づくり協会評議員 鹿児島海区漁業調整委員会委員 鹿児島県漁業協同組合連合会代表監事 鹿児島県漁業共済組合監事 鹿児島地区水産改良普及推進協議会会長	46	こら網漁業、さし網漁業	○	鹿児島市漁業協同組合	代表理事組合長 重信 雅彦	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、もって組合員の経済的、社会地位を高めること	・水産資源の管理及び水産動植物の増殖 ・水産に関する経営及び技術の向上に関する指導 ・組合員の事業又は生活に必要な資金の貸付け ・組合員の事業又は生活に必要な物資の供給など	正組合員97名 準組合員158名 計255名	(正組合員資格) この組合の地区内に住所を有し、かつ、1年を通じて90日を超えて漁業を営み又はこれに従事する漁民 ほか	昭和54年3月卒業後、一本釣り漁業に従事し組合の運営を始め経験を積みながら鹿児島市漁業協同組合の代表理事組合長を務めるなど、地域漁業者の中心的存在として浜の声を届けるを軸とし鹿児島市中央卸売運営協議会委員、公益財団法人かこしま豊かな海づくり協会評議員、鹿児島県漁業共済組合監事、日本漁船保険組合鹿児島支所運営委員、鹿児島県漁業協同組合連合会代表監事の各職責を理解し、沿岸のかいゑい漁協、鹿児島県漁協三島村支所等の推薦も頂いており高い評価で信頼され、現在も休む間を惜しんで各会合に出席しリーダーとしてのスキルを更に磨いており、特に漁業に関し豊富な知識と経験を活かし若い組合員の育成、儲かる漁師の方法なども、この道に進んでから次々と格段の進歩している。鹿児島県全体の歴代多くの組合長様と交流させていただいたが、最も成長している1人です。 地域漁業の発展に向け活動に高い意欲を持っていることと、後継者対策等に全力で漁業者の為になりたいとのことから、適任である。
10	うのね 鶴瀬 芳昭	59	男	漁業会社役員	昭和58年3月 昭和54年4月 平成元年～4年 平成2年1月 平成13年8月 平成18年～現在 平成20年6～平成29年 平成22年8月 平成28年～現在 平成29年～現在 令和6年～現在	鹿児島県立申良商業高等学校卒業 有限会社 芳恵丸 就職 鹿屋市漁協青年部長 第36回実績発表大会で発表 鹿児島県青年漁業士に認定 有限会社 芳恵丸の代表取締役就任 鹿屋市漁業協同組合の理事就任 鹿児島県指導漁業士に認定 鹿児島県かん水協会役員就任 鹿屋市漁業協同組合の監事就任 NPO法人古江わくわく町おこし理事長就任	41	養殖漁業	○	鹿屋市漁業協同組合	代表理事組合長 皆倉 貢	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、もって組合員の経済的、社会地位を高めること	・水産資源の管理及び水産動植物の増殖 ・水産に関する経営及び技術の向上に関する指導 ・組合員の漁獲物その他の生産物の運搬、加工、保管又は販売など	正組合員96名 準組合員68名 計164名	(正組合員資格) 組合の地区内に住所を有し、かつ1年を通じて90日を超えて漁業を営み又はこれに従事する漁民 ほか	被推薦者は、昭和58年より魚類養殖業に従事し、鹿屋市漁業協同組合の青年部活動に励み（平成元～4年度は部長）、現在は〇日として青年部を見守っている。その活動を第36回実績発表大会で「地域に根ざした活動をめざして」と題して発表し、鹿児島県青年漁業士に認定されている。 鹿屋市漁業協同組合の理事や代表監事を務め、県青年漁業士を経て指導漁業士として活動を行うなど地域漁業者の中心的存在として長年かつ活躍している。 鹿児島県かん水養殖協会の役員を務めるとともに、養殖業のみならず養殖魚の加工も手がけ、品評会で水産庁長官賞を受賞するなど、養殖や漁業経営、加工に関し豊富な知識と経験を有しており、地元漁業者からの信頼も厚く、本人も海区漁業調整委員会の職務を理解し、今後の地域漁業の発展に向けての活動に高い意欲を持っていることから、鹿児島海区漁業調整委員として適任者であると考え、推薦します。

推薦を受けた者（被推薦者）								推薦した者（推薦者）						
氏名	年齢	性別	職業	経歴	漁業経営状況		漁業法第138条 第5項に定める 漁業者又は漁業 従事者である	団体等名称	代表者職・氏名	団体等の性格		構成員		推薦理由
					従事 年数	主な漁業種 類				目的	業務内容	人数	構成員たる資格	
10 うの 鵜瀬 よしあき 芳昭	59	男	漁業会社役員	昭和58年3月 昭和54年4月 平成元年～4年 平成2年1月 平成13年8月 平成18年～現在 平成20年6～平成29年 平成22年8月 平成28年～現在 平成29年～現在 令和6年～現在  鹿児島県立串良商業高等学校卒業 有限会社 芳恵丸 就職 鹿屋市漁協青年部長 第36回実績発表大会で発表 鹿児島県青年漁業士に認定 有限会社 芳恵丸の代表取締役就任 鹿屋市漁業協同組合の理事就任 鹿児島県指導漁業士に認定 鹿児島県かん水協会役員就任 鹿屋市漁業協同組合の監事就任 NPO法人古江わくわく町おこし理事長就任	41	養殖漁業	○	鹿児島県漁業士会	会長 川畑 興文	鹿児島県漁業者の中核として資質の向上を図る	・漁業後継者の育成指導、研修及び講習会の開催等	青年漁業士 19名 指導漁業士 54名  合計73名	(構成員資格) 鹿児島県が認定している指導漁業士、青年漁業士	被推薦者は、昭和58年より魚類養殖業に従事し、鹿屋市漁業協同組合の青年部活動に励み（平成元～4年度は部長）、現在はO目として青年部を見守っている。その活動を第36回実績発表大会で「地域に根ざした活動をめざして」と題して発表し、鹿児島県青年漁業士に認定されている。鹿屋市漁業協同組合の理事や代表監事を務め、県青年漁業士を経て指導漁業士として活動を行うなど地域漁業者の中心的存在として長年かつ活躍している。鹿児島県かん水養魚協会の役員を務めるとともに、養殖業のみならず養殖魚の加工も手がけ、品評会で水産庁長官賞を受賞するなど、養殖や漁業経営、加工に関し豊富な知識と経験を有しており、地元漁業者からの信頼も厚く、本人も海区漁業調整委員会の職務を理解し、今後の地域漁業の発展に向けての活動に高い意欲を持っていることから、鹿児島県海区漁業調整委員として適任者であると考え、推薦します。



推薦を受けた者（被推薦者）										推薦した者（推薦者）					
氏名	年齢	性別	職業	経歴	漁業経営状況		漁業法第138条 第5項に定める 漁業者又は漁業 従事者である	団体等名称	代表者職・氏名	団体等の性格		構成員		推薦理由	
					従事 年数	主な漁業種 類				目的	業務内容	人数	構成員たる資格		
芳昭 つとむ	59	男	漁業会社社員	昭和58年3月 昭和54年4月 平成元年～4年 平成2年1月 平成13年8月 平成18年～現在 平成20年6～平成29年 平成22年8月 平成28年～現在 平成29年～現在 令和6年～現在 鹿児島県立串良商業高等学校卒業 有限会社 芳恵丸 就職 鹿屋市漁協青年部長 第36回実績発表大会で発表 鹿児島県青年漁業士に認定 有限会社 芳恵丸の代表取締役就任 鹿屋市漁業協同組合の理事就任 鹿児島県かん水協会役員就任 鹿屋市漁業協同組合の監事就任 NPO法人古江わくわく町おこし理事長就任	41	養殖漁業	○	ねじめ漁業協同組合	代表理事組合長 池添 勝好	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産率を上げ、もって組合員の経済的、社会地位を高めること	・水産資源の管理及び水産動植物の増殖 ・水産に関する経営及び技術の向上に関する指導 ・組合員の漁獲物その他の生産物の運搬、加工、保管又は販売など	正組合員50名 準組合員107名 計157名	(正組合員資格) 組合の地区内に住所を有し、かつ1年を通じて90日を超えて漁業を営み又はこれに従事する漁民 ほか	被推薦者は、昭和58年より魚類養殖業に従事し、鹿屋市漁業協同組合の青年部活動に励み（平成元～4年度は部長）、現在はO目として青年部を見守っている。その活動を第36回実績発表大会で「地域に根ざした活動をめざして」と題して発表し、鹿児島県青年漁業士に認定されている。鹿屋市漁業協同組合の理事や代表監事を務め、県青年漁業士を経て指導漁業士として活動を行うなど地域漁業者の中心的存在として長年かつ活躍している。鹿児島県かん水協会協会の役員を務めるとともに、養殖業のみならず養殖魚の加工も手がけ、品評会で水産庁長官賞を受賞するなど、養殖や漁業経営、加工に関し豊富な知識と経験を有しており、地元漁業者からの信頼も厚く、本人も海区漁業調整委員会の職務を理解し、今後の地域漁業の発展に向けての活動に高い意欲を持っていることから、鹿児島県海区漁業調整委員として適任者であると考え、推薦します。	
11 真一 まこと	68	男	漁業（養殖業）	昭和49年3月 昭和49年4月～現在 平成19年4月～現在 平成9年6月～12年6月 平成12年6月～25年6月 平成25年6月～令和4年6月 平成25年6月～令和4年6月 平成25年6月～27年6月 平成27年6月～令和4年6月 平成29年4月～令和4年6月 平成31年3月～令和4年6月 令和3年4月～現在※ 県立鹿屋工業高等学校卒業 親元の養殖業に従事 有限会社田村水産 代表取締役 牛根漁業協同組合 監事 牛根漁業協同組合 理事 牛根漁業協同組合 代表理事組合長 県かん水養魚協会 副会長 県水産団体 監事 県水産団体 理事 日本漁船保険組合鹿児島支所 運営委員 湾奥地区漁協長等連絡協議会 会長 鹿児島海区漁業調整委員会委員	49	魚類小割式 養殖漁業	○	牛根漁業協同組合	代表理事組合長 久永 高広	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産率を上げ、もって組合員の経済的、社会地位を高めること	・水産資源の管理及び水産動植物の増殖 ・水産に関する経営及び技術の向上に関する指導 ・組合員の漁獲物その他の生産物の運搬、加工、保管又は販売など	正組合員182名 準組合員78名 計260名	(正組合員資格) 組合の地区内に住所を有し、かつ1年を通じて90日を超えて漁業を営み又はこれに従事する漁民 ほか	和49年より親元の養殖業に従事し、牛根漁業協同組合の監事・理事を経験し現在代表理事組合長を務めている。なお、県水産団体の監事・理事も経験し現在も理事を務めていた。そのほかにも、県かん水養魚協会の副会長・日本漁船保険組合鹿児島支所の運営委員も務めていました。地元の湾奥地区漁協長等連絡協議会の会長も務め、他の漁協との融和に努めて地区をまとめている。特に、もしやこ漁や養殖業に関し豊富な知識や経験を有している。誠実な人柄で、地元漁民からの信頼が厚く、本人も海区調整委員の職責を理解し、今後の地域漁業の発展に向けての活動に高い意欲をもっていることから、適任である。	
								垂水市漁業協同組合	代表理事組合長 篠原 重人	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産率を上げ、もって組合員の経済的、社会地位を高めること	・水産資源の管理及び水産動植物の増殖 ・水産に関する経営及び技術の向上に関する指導 ・組合員の漁獲物その他の生産物の運搬、加工、保管又は販売など	正組合員394名 準組合員184名 計578名	(正組合員資格) 組合の地区内に住所を有し、かつ1年を通じて90日を超えて漁業を営み又はこれに従事する漁民 ほか	平成31年3月より湾奥地区漁協長等連絡協議会の会長を歴任後、海区調整委員を1期務め、湾奥漁協を取りまとめて頂いており、海区調整委員には適任であります。	

	推薦を受けた者（被推薦者）							推薦した者（推薦者）							
	氏名	年齢	性別	職業	経歴	漁業経営状況		漁業法第138条第5項に定める漁業者又は漁業従事者である	団体等名称	代表者職・氏名	団体等の性格		構成員		推薦理由
						従事年数	主な漁業種類				目的	業務内容	人数	構成員たる資格	
11	たむら しんいち 田村 真一	68	男	漁業 (養殖業)	昭和49年3月 昭和49年4月～現在 平成19年4月～現在 平成9年6月～12年6月 平成12年6月～25年6月 平成25年6月～令和4年6月 平成25年6月～令和4年6月 平成25年6月～27年6月 平成27年6月～令和4年6月 平成29年4月～令和4年6月 平成31年3月～令和4年6月 令和3年4月～現在※	県立鹿屋工業高等学校卒業 親元の養殖業に従事 有限会社田村水産 代表取締役 牛根漁業協同組合 監事 牛根漁業協同組合 理事 牛根漁業協同組合 代表理事組合長 県かん水養魚協会 副会長 県水産団体 監事 県水産団体 理事 日本漁船保険組合鹿児島県支所 運営委員 湾奥地区漁協長等連絡協議会 会長 鹿児島海区漁業調整委員会委員	49	魚類小割式 養殖漁業	○	鹿児島県漁業協同組合 代表理事組合長 梶 健一	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能力を上げ、もって組合員の経済的、社会的地位を高めること	・水産資源の管理及び水産動植物の増殖 ・水産に関する経営及び技術の向上に関する指導	正組合員67名 準組合員468名 計804名	(正組合員資格) 組合の地区内に住所を有し、かつ1年を通じて90日を超えて漁業を営み又はこれに従事する漁民 ほか	平成31年3月より湾奥地区漁協長等連絡協議会の会長を歴任後、海区調整委員を1期務め、湾奥漁協を取りまとめで頂いており、海区調整委員には適任であります。
12	かわはた おさむ 川畑 興文	44	男	漁業 (養殖業)	平成10年3月 平成13年4月 平成27年 平成29年 平成30年	鹿児島県立鹿屋工業高等学校 卒業 有限会社丸庄水産 入社 鹿児島県漁業士会 入会 (株)川庄水産 代表取締役 就任 鹿児島県漁業士会 会長 (現在に至る)	24	魚類養殖漁業 (カンパ子)	○	垂水市漁業協同組合 代表理事組合長 篠原 重人	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能力を上げ、もって組合員の経済的、社会的地位を高めること	・水産資源の管理及び水産動植物の増殖 ・水産に関する経営及び技術の向上に関する指導 ・組合員の漁獲物その他の生産物の運搬、加工、保管又は販売など	正組合員394名 準組合員184名 計578名	(正組合員資格) 組合の地区内に住所を有し、かつ1年を通じて90日を超えて漁業を営み又はこれに従事する漁民 ほか	推薦候補者は、平成13年より魚類養殖業に従事し、垂水市漁業協同組合の青壮年部に所属し地域漁業の若手の中心的な存在として長年活躍している。なお、平成27年からは、漁業士会に所属し平成30年からは鹿児島県漁業士会会長を務め魚食普及等の活動にも一生懸命取り組んでおられます。また、誠実な人柄で、地元垂水市漁業協同組合の漁業者や近隣漁業者からの信頼は厚く、父である川畑興治が鹿児島県漁業調整委員会委員として務めておられたことから、その責務の重要さも十分理解されており、また今後の地域漁業の発展に向けての活動に高い意欲を持っていることから、鹿児島県漁業調整委員として適任であると考え推薦いたします。

	推薦を受けた者（被推薦者）							推薦した者（推薦者）							
	氏名	年齢	性別	職業	経歴	漁業経営状況		漁業法第138条第5項に定める漁業者又は漁業従事者である	団体等名称	代表者職・氏名	団体等の性格		構成員		推薦理由
						従事年数	主な漁業種類				目的	業務内容	人数	構成員たる資格	
12	かわはた 川畑 興文	44	男	漁業 (養殖業)	平成10年3月 平成13年4月 平成27年 平成29年 平成30年  鹿児島県立鹿屋工業高等学校 卒業 有限会社丸庄水産 入社 鹿児島県漁業士会 入会 (株)川庄水産 代表取締役 就任 鹿児島県漁業士会 会長 (現在に至る)	24	魚類養殖漁業 (カンパ子)	○	鹿児島県漁業協同組合	代表理事組合長 皆倉 貴	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能力を上げ、もって組合員の経済的、社会的地位を高めること	・水産資源の管理及び水産動植物の増殖 ・水産に関する経営及び技術の向上に関する指導 ・組合員の漁獲物その他の生産物の運搬、加工、保管又は販売など	正組合員96名 準組合員68名 計164名	(正組合員資格) 組合の地区内に住所を有し、かつ1年を通じて90日を超えて漁業を営み又はこれに従事する漁民 ほか	推薦候補者は、平成13年より魚類養殖業に従事し、垂水市漁業協同組合の青壮年部に所属し地域漁業の若手の中心的な存在として長年活躍している。なお、平成27年からは、漁業士会に所属し平成30年からは鹿児島県漁業士会会長を務め魚食普及等の活動にも一生涯取り組んでおられます。また、誠実な人柄で、地元垂水市漁業協同組合の漁業者や近隣漁業者からの信頼は厚く、父である川畑興治が鹿児島県漁業調整委員会委員として務めておられたことから、その責務の重要さも十分理解されており、また今後の地域漁業の発展に向けての活動に高い意欲を持っていることから、鹿児島県漁業調整委員会として適任であると考え推薦いたします。
									ねじめ漁業協同組合	代表理事組合長 池添 勝好	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能力を上げ、もって組合員の経済的、社会的地位を高めること	・水産資源の管理及び水産動植物の増殖 ・水産に関する経営及び技術の向上に関する指導 ・組合員の漁獲物その他の生産物の運搬、加工、保管又は販売など	正組合員50名 準組合員107名 計157名	(正組合員資格) 組合の地区内に住所を有し、かつ1年を通じて90日を超えて漁業を営み又はこれに従事する漁民 ほか	推薦候補者は、平成13年より魚類養殖業に従事し、垂水市漁業協同組合の青壮年部に所属し地域漁業の若手の中心的な存在として長年活躍している。なお、平成27年からは、漁業士会に所属し平成30年からは鹿児島県漁業士会会長を務め魚食普及等の活動にも一生涯取り組んでおられます。また、誠実な人柄で、地元垂水市漁業協同組合の漁業者や近隣漁業者からの信頼は厚く、父である川畑興治が鹿児島県漁業調整委員会委員として務めておられたことから、その責務の重要さも十分理解されており、また今後の地域漁業の発展に向けての活動に高い意欲を持っていることから、鹿児島県漁業調整委員会として適任であると考え推薦いたします。
									鹿児島県漁業士会	会長 川畑 興文	鹿児島県漁業者の中核として資質の向上を図る	・漁業後継者の育成指導、研修及び講習会の開催等	青年漁業士19名 指導漁業士54名 合計73名	(構成員資格) 鹿児島県が認定している指導漁業士、青年漁業士	推薦候補者は、平成13年より魚類養殖業に従事し、垂水市漁業協同組合の青壮年部に所属し地域漁業の若手の中心的な存在として長年活躍している。なお、平成27年からは、漁業士会に所属し平成30年からは鹿児島県漁業士会会長を務め魚食普及等の活動にも一生涯取り組んでおられます。また、誠実な人柄で、地元垂水市漁業協同組合の漁業者や近隣漁業者からの信頼は厚く、父である川畑興治が鹿児島県漁業調整委員会委員として務めておられたことから、その責務の重要さも十分理解されており、また今後の地域漁業の発展に向けての活動に高い意欲を持っていることから、鹿児島県漁業調整委員会として適任であると考え推薦いたします。
								鹿児島県漁業協同組合	代表理事組合長 榎 健一	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能力を上げ、もって組合員の経済的、社会的地位を高めること	・水産資源の管理及び水産動植物の増殖 ・水産に関する経営及び技術の向上に関する指導	正組合員67名 準組合員465名 計532名	(正組合員資格) 組合の地区内に住所を有し、かつ1年を通じて90日を超えて漁業を営み又はこれに従事する漁民 ほか	推薦候補者は、平成13年より魚類養殖業に従事し、垂水市漁業協同組合の青壮年部に所属し地域漁業の若手の中心的な存在として長年活躍している。なお、平成27年からは、漁業士会に所属し平成30年からは鹿児島県漁業士会会長を務め魚食普及等の活動にも一生涯取り組んでおられます。また、誠実な人柄で、地元垂水市漁業協同組合の漁業者や近隣漁業者からの信頼は厚く、父である川畑興治が鹿児島県漁業調整委員会委員として務めておられたことから、その責務の重要さも十分理解されており、また今後の地域漁業の発展に向けての活動に高い意欲を持っていることから、鹿児島県漁業調整委員会として適任であると考え推薦いたします。	

※ 県水産振興課による参考追記

3 応募 (※ 推薦によらない自らの応募)  
なし

鹿児島海区漁業調整委員会委員候補者の推薦及び応募状況【最終公表】

学識経験委員

1 個人推薦

なし

2 団体推薦

以下のとおり

番号	推薦を受けた者（被推薦者）						推薦した者（推薦者）						
	氏名	年齢	性別	職業	経歴	資源管理及び漁業経営に関する学識経験	団体等名称	代表者職・氏名	団体等の性格		構成員		推薦理由
									目的	業務内容	人数	構成員たる資格	
1	にし かずき 西 一樹	63	男性	団体 役員	昭和63年3月 平成3年1月 平成20年2月～平成22年9月 平成22年10月～平成25年9月 平成25年10月～平成27年3月 平成27年4月～平成28年6月 平成28年6月～現在 平成28年7月～現在 平成28年8月～現在 鹿児島大学水産学部卒業 鹿児島県漁業協同組合連合会入会 同連合会財務管理部企画管理課長 同連合会総務指導室次長兼総務課長 同連合会総務指導室部長兼総務課長 同連合会参事兼総務指導室長 同連合会常務理事 鹿児島県資源管理協議会副会長 鹿児島海区漁業調整委員会委員	平成28年7月から 鹿児島県資源管理協議会副会長として、 県資源管理指針の策定・見直しの検討や 資源管理計画、漁場改善計画の履行確認等に携わる。 平成27年4月から JF経営指導等に従事。	鹿児島県漁業協同組合連合会	代表理事会長 市田 恵八朗	会員が協同して経済活動を行い、所属員の漁業の生産率の向上等その事業の振興を図り、もって所属員の経済的地位を高めること	水産資源の管理及び水産動植物の増殖 水産に関する経営及び技術の向上に関する指導 必要物資の供給 所属員の事業に必要な共同利用施設の設置 所属員の漁獲物その他の生産物の運搬、加工、保管又は販売など	47会員	この連合会の地区の全部若しくは一部を地区とする漁業協同組合若しくは漁業協同組合連合会	平成28年8月から現在まで鹿児島海区漁業調整委員会委員を務めており、同委員会の職務内容を理解している。 また、鹿児島県漁業協同組合連合会でも指導事業部門で会員JFの経営指導等に従事していることから、鹿児島海区漁業調整委員会委員に推薦するものである。
2	くが 久賀みず保	46	女性	大学 教員	平成14年4月～平成17年3月 平成17年4月～平成18年3月 平成18年4月～平成19年3月 平成19年4月～平成19年9月 平成19年10月～平成28年4月 平成28年5月～現在 平成24年8月～現在※ 広島大学大学院生物圏科学研究科修了 国際開発高等教育機構 広島大学大学院生物圏科学研究科特別研究員 近畿大学水産研究所COE博士研究員 鹿児島大学水産学部助教 鹿児島大学学術研究院農水産獣医学系水産学系准教授 熊本海区漁業調整委員会委員	平成24年～現在 熊本海区漁業調整委員会委員 平成27年～令和元年 水産庁水産政策審議会（資源管理委員会・企画委員会）委員 平成22年～平成23年 県海面利用協議会委員	鹿児島大学水産学部	学部長 西 隆一郎	水産に係わる学術研究、地域活性化、大学教育の機会均等	水産に係わる教育・研究・社会貢献の推進	教員45人	教育・研究・社会貢献・国際交流・組織運営の実績に基づき、農水産獣医学域水産学系会議での教授による投票によって教員候補者が選任される。	久賀みず保氏は、漁業権や漁業調整規則について深く理解しており、知事の諮問等に対し、学識経験を活かした的確な意見を提供可能である。 また、水産動植物の採捕制限に関する指示等が、関係する各種漁業経営に対してどのような短期的及び長期的影響をもたらすかを踏まえた上で、意欲的に委員会での審議を行うことが出来る。 それに加えて、漁業経営に関してこれまで新たな見解を数多く見いだしており、各種学会等で報告している。このように職務内容の理解及び意欲と、漁業に関する知識及び知見に優れていることから、鹿児島海区漁業調整委員会の学識経験委員候補者に推薦する。

※ 県水産振興課による参考追記

3 応募

以下のとおり

番号	応募した者（応募者）					経歴	資源管理及び漁業経営に関する学識経験	応募理由
	氏名	年齢	性別	職業				
1	あつしまきひと 篤 昭仁	65	男性	協議会 職員	昭和57年3月 昭和60年3月 昭和60年4月～昭和61年3月 昭和61年4月 令和2年3月 令和2年7月～現在 令和3年4月～現在※	高知大学農学部栽培漁業学科卒業 高知大学大学院農学研究科修了 高知大学大学院農学研究科研究生 鹿児島県庁入庁 鹿児島県庁退職 鹿児島県資源管理協議会職員（4年目） 奄美大島海区漁業調整委員会委員	水産の専門職として33年間鹿児島県庁に勤務し、その間、大島支庁をはじめ、大隅水産改良普及所、鹿児島県水産事務所、北薩振興局において地域漁業の経営や資源管理に関する業務に携わった。 大隅での勤務時に、イセエビの資源管理のため、網の保有数と漁獲量を調査し、網の保有数と漁獲量は必ずしも比例しなかったことがあった。資源管理をするためには、漁業経営上、支出と収入のバランスを考えることも必要と考えるようになり、そのため漁業実態把握に努めるようになった。 今般、漁業法が改正され、資源の回復維持を図り、その資源を有効に活用して漁業生産力を発展させていくことが明記され、大きく舵が切られた。このようなことから、調整委員に新たな知識・知見が求められていると理解しており、これまでの漁業調整係での漁業調整業務や、県内各地での普及業務が活かせるのではと思っている。大隅水産改良普及所や鹿児島県水産事務所、北薩振興局での勤務では、地域の様々な漁業実態に触れ、この経験が地域の漁業振興に寄与できるのではと思い応募した。	
2	たかはしひろし 高橋 宏	65	男性	団体 職員	昭和57年3月 昭和57年4月 平成21年4月～平成25年3月  平成25年4月～平成27年3月 平成27年4月～平成29年3月 平成29年4月～平成30年3月 平成30年4月～令和2年3月 令和2年3月 令和2年4月～現在	九州大学農学部水産学科卒業 鹿児島県庁入庁（水産技術職採用） 県庁水産振興課技術補佐（1年） 商工政策課技術補佐（1年） 水産振興課技術補佐（2年） 北薩地域振興局林務水産課出水市駐在参事（水産） 水産振興課資源管理監 水産振興課長 商工労働水産部次長（水産担当） 鹿児島県職員を定年退職 公益社団法人鹿児島県森林整備公社入社（管理課長）現在に至る。	鹿児島県水産技術職員として30年以上水産行政に従事し、その間、漁業調整業務と資源管理業務に8カ年携わり、もじやこ・底びき網、ごち網漁業等の許認可、県漁業調整規則の改正（湾内底びき網の網目・隻数制限）、委員会指示（ヒラメ体長制限、ウナギ禁漁期間）の発出・普及啓発、TAC制度の運用、沖縄県と取り組むマチ類広域資源の管理（保護区・保護期間設定）、県資源管理協議会の立上げ・運営などを行なったほか、平成27年からは鹿児島県海区漁業調整委員会事務局長を2カ年務めました。 ・南薩及び北薩、屋久島において水産改良普及業務に8カ年携わり、漁協等が行うアワビ、マダイ等種苗放流やその追跡調査等の支援、漁業者が借り入れる沿岸漁業改善資金の計画指導などを行いました。 ・漁協指導業務に3カ年携わり、漁業金融、漁協の常例検査、漁協の運営や経営改善の指導を行いました。	鹿児島県水産技術職員として長年、水産行政に従事し、本庁や出先で漁業調整や資源管理の業務、普及業務などに携わり、県内漁業の現状や水産資源の状況、漁具漁法を把握出来ました。多くの漁業者を知り、操業現場も見聞出来ました。また、鹿児島県海区漁業調整委員会事務局長も務めたことから、これまでの経験や知見を十分に生かせるかと判断し、応募しました。ここ数年、本県漁業は海水温の上昇や漁況の変化、燃油価格の高止まりなど経験したことのない環境に直面しており、漁業者は厳しい操業や経営を強いられていると思います。漁業・漁村の将来に不安を抱えています。漁業調整委員会の役割は限られており、これら課題にすべて対処できるわけではありませんが、漁業者の考えをよく聞き、これまで培った経験や知見をもとに漁場利用や水産資源等に係る諸問題、課題の調整・解決に取り組みたいです。そして、本県水産業の振興に僅かでも貢献出来ればと考えています。

※ 県水産振興課による参考追記

鹿児島海区漁業調整委員会委員候補者の推薦及び応募状況【最終公表】

中立委員

1 個人推薦

なし

2 団体推薦

以下のとおり

番号	推薦を受けた者（被推薦者）					海区漁業調整委員会 の所掌に 属する事 項に関し 利害関係 を有しない	推薦した者（推薦者）						
	氏名	年齢	性別	職業	経歴		団体等名称	代表者職・氏名	団体等の性格		構成員		推薦理由
									目的	業務内容	人数	構成員たる資格	
1	まえだ のしげ 前田 祝成	59	男性	枕崎市長	昭和62年4月～平成29年6月 平成30年1月26日～現在 平成30年2月～現在※	○	鹿児島県市 長会	会長 本坊 輝雄	県下各市 の連絡調整 を図り、市 政の円滑な 運営と進 展に寄与 し、もって 地方自治の 振興を期す ること	(1) 行財政に関する 調査研究及び施策 の推進 (2) 都市の発展対策 に関する調査研究 及び施策の推進 (3) 全国市長会その 他各種団体との連 絡調整 (4) 研修会、講習会 等の開催 (5) その他本会の目 的を達成するため に必要な事項	19名	県内市長	県内19市長の連合組織である本 会からは、それぞれの区域におい て、法律を遵守し、公平・公正な 立場で行政を運営する市長を推薦 するものであり、とりわけ、全国 有数の漁港である枕崎漁港を有 し、漁業に関する高い識見がある 枕崎市長を推薦するものである。 なお、現在、平成28年8月から鹿 児島海区漁業調整委員会委員も務 めており、同委員会の職務を十分 理解している。
2	くぼ げんいちろう 久保 源一郎	69	男	十島 村長	昭和52年3月31日 昭和52年2月21日 昭和53年6月30日 昭和54年2月1日 平成27年3月31日 平成31年4月1日 令和4年3月31日 令和6年5月16日※	○	鹿児島県町 村会	会長 高岡 秀規	町村政の 円滑な運営 と地方自治 の振興発展 を図ること	・ 町村の事務及び 町村長の権限に属 する事務の連絡調 整 ・ 法律又は政令に より本会の権限に 属する国、地方公 共団体、その他公 共団体の事務の処 理 ・ 地方自治の振興 発展に関する調査 研究 ・ 町村職員の教養 並びに福利厚生に 関する施設 ・ 町村事務に必要 な各種資材の斡旋 並びに確保 ・ 町村有財産の損 害保険に関する特 約施設 ・ 各地方公共団体 の協議会（町村会 を含む。）との連 絡並びに協力	24町村	鹿児島県内町 村長  (肥後氏は令和 2年2月25日 より本会理事)	久保氏は、昭和54年2月から平 成27年に定年退職するまで、30年 以上の長きにわたり十島村役場に 勤務し、村行政の隅々まで理解し ている。近年においては、人口減 少で悩む自治体が多い中、各種施 策を積極かつ着実に実施した結 果、平成27年に行われた国勢調査 では鹿児島県内の市町村で一位の 人口増加率を記録した。 また、離島地域における主産業 は漁業をはじめとする第一次産 業であり、平成29年4月には水産指 導員制度を開始するなど漁業振興 を強化しており、漁業に対する深 い理解がなければ、このような結 果は導き出せなかったと推測され る。 さらに、十島村退職後、農業組 合法人に勤務するなど、第一次産 業に関する知見も大変深く、人柄 も温厚かつ誠実であり、委員にふ さわしい者であると思われること から推薦する。
3	まえだ けいこ 前田 圭子	47	女	弁護 士	平成13年3月 平成14年4月～平成16年9月 平成16年10月～現在 平成24年4月～平成25年3月 令和3年4月～現在	○	鹿児島県弁 護士会	会長 山口 政幸	会員の使 命及び職務 に鑑み、そ の品位を保 持し、会員 事務の改善 進歩をはか るため、会 員の指導、 連絡及び監 督に関する 事務を行う こと	鹿児島県内で業務 を行う弁護士会員の 加入が義務付けられ た弁護士法に基づく 法定団体	224名＋ 36法人	弁護士	漁業関連も含め行政関係の争訟 に造詣が深く、当会副会長の経験 もあり、弁護士経験、会務経験を 考慮し適任であると考えられるた め。

※ 県水産振興課による参考追記

3 応募

なし